

公益社団法人 日本介護福祉士会
一般社団法人
山形県介護福祉士会広報

第42号 2024.3.29
発行
山形県介護福祉士会広報委員会
事務局
山形県総合社会福祉センター内

令和6年 一般社団法人山形県介護福祉士会 第12回通常総会

期日：令和6年5月18日(土)
場所：山形国際交流プラザ山形ビックウイング
総会：14:00～14:50
研修会：15:00～16:20
テーマ：『安全な食事介助』(案)
講師：山形県立中央病院 摂食・嚥下看護
認定看護師 影澤啓子氏



返信ハガキは必ずご投函ください

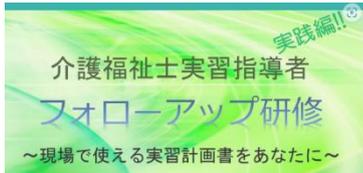
令和6年度研修会実施予定

<p>○介護福祉士実習指導者講習</p> <p>① ② 8月8(木)・9(金) ③ ④ 8月29(木)・30(金)</p>	<p>○介護福祉士実習指導者 フォローアップ研修</p> <p>① 11月9日(土) ② 11月30日(土)</p>	<p>○介護福祉士基本研修</p> <p>① ② 7月20(土)・21(日) ③ ④ 9月28(土)・29(日)</p>
<p>○ファーストステップ研修</p> <p>① ② 6月22(土)・23(日) ③ ④ 7月6(土)・7(日) ⑤ ⑥ 8月24(土)・25(日) ⑦ ⑧ 9月14(土)・15(日) ⑨ ⑩ 10月5(土)・6(日) ⑪ ⑫ 10月26(土)・27(日) ⑬ ⑭ 11月16(土)・17(日) ⑮ 12月14(土)</p>		
<p>○介護職種の技能実習指導者講習 12月2日(月)</p>		
<p>○技術講習(移動・移乗) 12月8日(日)</p>		
<p>○施設・事業所への出前講習は随時実施します ○全国一斉模擬試験は検討 ※ 詳細につきましてはHPに掲載しますのでご覧ください。</p>		

研修会報告 実習指導者フォローアップ研修を開催しました



実習指導者講習会を終えたものの、実際の介護現場でスタッフにうまく計画を伝えることが難しいなどの悩みから、実習指導者フォローアップ研修を2日間開催しました。研修は、介護福祉士の実習指導者が効果的な実習指導を行い、介護福祉士の育成に貢献するためのスキルアップを目指すことを目的としました。



1日目は、“実習指導における課題と期待”について特別養護老人ホームながまち荘の会田るみ様より講演をいただき、午後からは実習指導者が抱えている課題を抽出と改善方法の提案から実習指導計画作成を行いました。2日目は自施設での指導内容を含め改善した計画書の発表とグループワークにて計画書の改善等を行いました。受講生からは、具体的な計画書の作成により実習を担当するスタッフへの説明がスムーズになり協力を得やすくなった等の感想をいただくことができました。

(安達 秀則)



令和5年度 各支部で研修会が開催されました！

<p>最北支部 『介護技術を確認しよう』 令和5年10月28日午前10時～12時 場所:コアカレッジ 講師:新庄徳洲会病院理学療法士 佐藤泰氏</p>	<p>庄内支部 『福祉でまちづくり～地域の支え合い・助け合いについて～』 令和5年9月10日10時～ 場所:酒田市総合文化センター 講師:酒田市役所企画課地域福祉係</p>
<p>村山支部 『不適切ケアと倫理-介護福祉士に求められる倫理観とは』 令和5年10月29日(日)10時～12時 場所:特別老人ホームながまち荘 講師:特別老人ホーム長生園・介護福祉士会理事 安達秀則</p>	<p>置賜支部 『不適切ケアと倫理-介護福祉士に求められる倫理観とは』 令和6年2月24日(日)10時～12時 場所:ワトワセンター南陽 講師:特別老人ホーム長生園・介護福祉士会理事 安達秀則</p>

連載

みんなで考えよう 倫理

介護の現場で生じる様々な問題を倫理的視点から考えるには、判断の手順として4つの倫理的判断の視点から検証すると良いと言われています。また、4つの視点のうち3つ以上を満たせば倫理的な判断に基づいた行動と言えると考えられています。

倫理的判断の視点

- ①「自律尊重の視点」利用者や家族の意向を何よりも尊重する視点のことで、利用者の願いを大切にし、利用者の意向を最優先する介護実践です。
- ②「善行の視点」利用者や家族にとって、最良の結果が得られることを何よりも重視する視点です。
- ③「悪不履行の視点」利用者や家族にとって、予測される悪い結果(危害、損害、不都合など)をできるだけ避けることを重視する視点です。
- ④「正義・公平の視点」利用者や家族に対して、正しいことを公平に行うことを重視する視点のことで、法令を遵守することや、利用者の人権・価値観などを大切にされた介護実践です。

このような事例にあなたの職場ではどう対応しますか？

- 利用者の自立支援の視点を大切にしたいが、家族の介護力の問題で家族の意見を優先しなければならないとき
 - 利用者は毎日入浴したいと希望しているが、施設の状況や通例として週2回の入浴以外は対応できないとき
- 実際の介護現場では全ての視点を満たすことは難しいので、少しでも満たすことができるように話し合い、試行錯誤しながら、結論に導くことが大切です。(阿部治夫)

会員交流のひろば

時の流れと希望に満ちた介護職

介護福祉士の登録をして17年の年月が経過しました。私は、子育ての傍ら様々な職場を経験し学んで来ました。

認知症グループホームでは、高齢者の尊厳を守り、今を生きるご本人様に寄り添う事、病院のリハビリテーション科ではPT・OT・STに様々な知識や技術を教えていただきました。福祉事務所では、介護保険認定審査員として介護認定に関わる一連の流れの実務や自治体とケアマネや高齢者福祉施設との連携を見てきました。どれも貴重な体験で、今に繋がっていると感じています。現在は正職員として介護職の道を歩んでいます。今年度は、日本で介護を学ぶ外国人の方の技能実習指導員講習を受講させていただきました。また、支部研修ではグループワークを通して、自己の倫理観や最新の介護技術の再確認ができました。

今後もスキルアップに努め、経験を深めて、介護の職は希望に満ちていることを伝えていける人材になりたいと思います。

ばれっと新庄介護施設 佐藤千穂

【編集後記】 今期は例年にない小雪で、通勤がとても楽にできました。私の職場では秋には職場の引っ越し、年が明けてからは新組織の立ち上げと、激動の1年になりました。大変ではありますが、作り上げる喜び(苦しみも)を楽しみたいと思います。春です。新しいことは良い事です。気分も新たに、気持ちを引き締めて。(E. H)

